



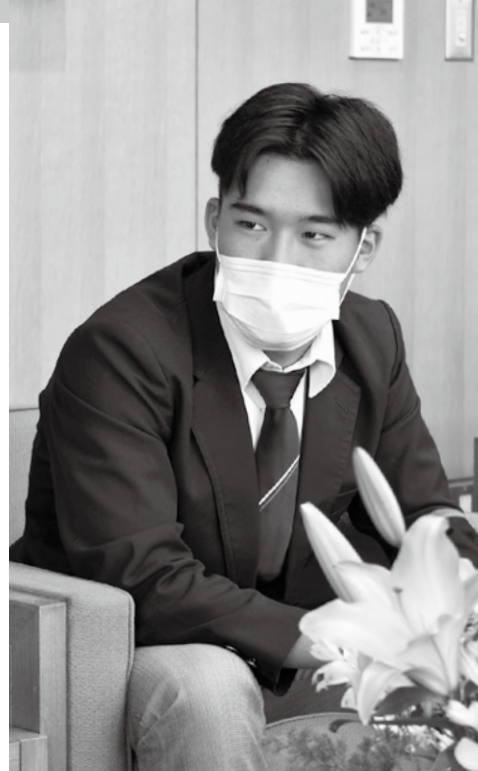
糸満市文化協会会長
仲宗根 巴津美 さん
●なかそね はつみ

文化協会会長として、市の記念事業などで数多くの演目を披露。50周年記念事業「月の豊多」披露に向けて稽古に励んでいる。



耳鼻咽喉科かおる医院院長
新垣 香太 さん
●しんがき こうた

耳鼻科診療のほか、地域貢献プロジェクトを立ち上げ、子ども食堂への寄付をはじめ、多くの支援を展開している。



興南高校3年生
仲村 音葵 さん
●なかむら のあ

兼城中学校卒業。高校卒業後に海外留学を予定していたが、コロナ禍で延期に。理学療法士の取得に向け専門学校へ進学する。



糸満市地域おこし協力隊
トウイトウー・ルドヴィック さん
フランス出身で日本滞在歴は16年。2021年3月から糸満市に移住し、地域おこし協力隊として活動している。

て、天然芝化や環境整備をしていただいてありがとうございます。私は、留学を検討していたのですが、現在コロナの影響で渡航が難しい状況となり、断念せざるを得なくなりました。なので、理学療法士の資格取得ができる専門学校に通って、そのあとに渡航することを決断しています。

ルド いいですね。夢も行動力もある人たちで。私が糸満を好きな理由はこういふところ。本名はトウイトウー・ルドヴィックでルドと申します。フランス出身で20歳くらいまでフランスにいて、縁あって日本語を勉強して、日本に留学するうちにやはり日本はいい国だなと思って伸ばして伸ばして、気づいたら自分の人

生は日本だなとなりました。東京には長くいたんですが、10年くらい前に子どもができて、その子どもを東京で育てることにちょっと違和感ができて移住する場所を探していました。たまたま1年前に研修という形で糸満に来る機会があって、もともと沖縄はいい場所と思ってはいたけど、糸満の自然、まち、人、海人文化といった独特な文化に触れて、ここがいいなと思ってすぐに移住を決断しました。せっかく人生を変えるんだったら、地元のコミュニティに貢献する仕事をしたいと思ってます。私は、海外との繋がり役割を果たしたくて、糸満の魅力を外に伝えるのはどうすればいいのかということで、糸満の

観光の土台を作っていこうと思っています。**市長** いろいろな人たちと会いますが沖縄に住み続けたいという人がたくさんいますので、それが糸満だったら素敵ですね。ルドさんが言っていたコミュニティが最近ではだいぶ衰退しているの。思いやりお互いの温かさが通じるような環境・コミュニティというのは非常に大切なかなと思っています。ルドさんの人柄と、地域がかみ合ったときに笑いの絶えない素晴らしい地域になると思います。**新垣** ルドさんの糸満に来られた経緯など初めて聞いたのですが、ルドさんに糸満市を案内してほしいなと感じました。

仲宗根 (仲村さんに) アドバイスではないけど、海外に行きたい、海外で自分の持てる技術とか役に立ちたいと思ってますよね。自分の住んでいた糸満市はこういうところで、海が青いです。そういったのは世界中でどこにもある。自分が知っている糸満はなんであるのかというのを、本当に勉強して行ってほしい。それから自分の生まれ育ったところはこういうところか説明できますよね。そのようになれば本当にいい活動ができると思います。勉強以外、仕事以外の何か仲良くなれるものといえば、沖縄でいえば三線が一番いいですよ。2、3曲覚えてから行ってください。イギリスでも大学の先生たちがエイ

サーとか三線のクラブをやっているようです。自分の周りでサークルを作ってこういう楽しみ方ができる楽器が沖縄にあるんだよと紹介できる。

仲村 頑張ります。

糸満市にチャレンジしてほしいことなど

仲宗根 まだまだ話するほどの段階ではないのですが、できたら糸満市の姉妹都市・友好都市である、宮崎県都農町、北海道網走市、神奈川県厚木市がありますよね。そういういったところと文化祭をくくる糸満で出来たらいいなと考えています。私たち網走市に招かれたことがあるので、今度は糸

満市にお迎えして、文化祭的なもの、展示物もそうですし、舞台部門も全部一つになっていうのを実現させたい。今後、市と一緒に話しながらチャレンジできたらと考えています。**市長** くくる糸満という素晴らしい施設もできましたので、姉妹都市、友好都市とできるようなことも一緒に考えていきたいですね。

新垣 ちょうど去年の4月くらいから、かおる医院も30周年ということと、コロナ禍で何か新しいことをチャレンジしたいということ、Kafu(カフ)プロジェクトを立ち上げました。僕自身すぐ子どもが大好きというものもあって、子どもの貧困や

色々な問題について何かしら支援できないかということ、子ども食堂への寄付やキッチンカーで子ども食堂をやったり、市内の保育園に紙芝居を寄贈したりしています。糸満市に対する要望というわけではないのですが、支援の中で、ひまわりというバドミントンクラブに練習用Tシャツをプレゼントしたことがあり大変喜ばれました。自分の中学校だったり、頑張っているから支援したいという人や企業は潜在的にいっぱいいると思います。色々な壁はあると思うのですが、支援したい側と支援して欲しい側のマッチングを何とか糸満市でつくれると面白いんじゃないかと思うので、仕組み作りをぜひチャ

レンジしてほしいです。

市長 外部の競技団体だとスムーズにいくのかなと思う一方で、学校教育の中だとやりづらいところもあると思います。ただ、将来を見据えて頑張っている子どもたちの支援、そういういった環境を整えるというのにも必要ですよ。ありがとうございます。

ルド これからの糸満市としてすぐチャレンジになってくるところは、今までの形の観光の固定観念を覆して、例えば環境を破壊する形は将来のためにならないし、コミュニティを破壊させる。今後のためにもむしろコミュニティに貢献させる必要がある。海外でもコミュニティのためになっていない観光を作ってしまう